

# 今年の成長を楽しみに

私どもの教会で預かる少年たちの年末年始は忙しい。

12月29日は大掃除。30日は知り合いの農家さんの野菜の収穫を手伝い、31日は元旦祭の神饌や新年会の買い出しをする。

大掃除は朝つとめ後に朝食を取ってから、皆で一斉に取りかかる。神殿、参拝場、教職舎の各部屋、廊下、窓、ロッカー、庭、駐車場……。屋内外のすみずみまでじわじわにするので、半日かかる大仕事だ。

あるとき、教会に来て間もない少年が、掃除に気持ちが入らず、ダラダラと手を動かしていた。すると、その様子を見ていた、先輩少年がこう言った。「お世話になっている教会だから、感謝の気持ちを込めて掃除したほうがいいぞ」

その言葉の中に、先輩少年が教会での生活を通して、少しずつ更生の手ごたえをつかんでいるのかもしれないと感じた。

少年たちは、私たちがこれまで当たり前だと思っただけを経験したことがない。一緒に生活を送る中で、初めて家庭的な雰囲気を感じたり、大人に見守られていることに気づいたりして、驚きや喜びを感じるのだ。

少年たちは、私たちがこれまで当たり前だと思っただけを経験したことがない。一緒に生活を送る中で、初めて家庭的な雰囲気を感じたり、大人に見守られていることに気づいたりして、驚きや喜びを感じるのだ。

## 非行少年とともに

「補導委託」30年の歩み

大畑道雄  
本導分教会長

1月1日は元旦祭を勤めた後、お世話になっている地域の各所へ新年のあいさつに伺う。

34人。誰もお酒は飲まないが、宴会のように盛り上がる。新年会の締めくくりでは、一人ひとりが今年の抱負を発表し合う。



絵・ひやまちさと

「朝起きから頑張る」「二度と非行に走らないような人に成長したい」「とにかく社会で働く」……。

新しい年を迎え、新たな気持ちで決意を述べた少年たち。彼らが今年、どんな成長を見せてくれるのか、いまから楽しみで仕方がない。